

新春対談

千年を超える歴史・文化を生かす！ 歴史ミュージアムふくいを発信

今年3月、いよいよ北陸新幹線が福井・敦賀に開業します。この100年に二度のチャンスに、ふくいの歴史や文化を生かして人を呼び込み、地域の活力を高めていきます。令和6年の新春を迎え、杉本知事と、歴史の専門家が、福井県の歴史の魅力、観光への活用などについて語り合いました。

福井県の歴史、ここが魅力的！

— 知事、普段の生活の中で歴史を感じることはありますか。

知事 大河ドラマが大好きなのですが、戦国や幕末がテーマになることが多く、福井の偉人がよく出てくるので、ワクワクしながら見ています。そして、歴史とともに語るのは文化だと思いますが、福井県には、約1500年の歴史を持つ越前和紙や越前漆器、約1300年の歴史を持つ若狭の細工などの伝統的工芸品もあり、福井県は歴史も文化も分厚いと感じています。

— 福井県は様々な分野で歴史がありますよね。加来さん、後藤さんは福井県の歴史の魅力はどういったところだと思いますか。

加来 戦国武将なら、朝倉義景。越前の地に都そのものを復興しようとした。もしかすると、一乗谷が都になっていたかもしれないですね。また、警視總監第一号といえる役割を果たした村田氏寿。幕末なら橋本左内、由利公正。まさに人物の宝庫です。

— 福井県は実はすごい「歴史の宝庫」ですよ。つづいて、みなさんの好きな福井の偉人を教えてください。

加来 戦国武将なら、朝倉義景。越前の地に都そのものを復興しようとした。もしかすると、一乗谷が都になっていたかもしれないですね。また、警視總監第一号といえる役割を果たした村田氏寿。幕末なら橋本左内、由利公正。まさに人物の宝庫です。

後藤 朝倉氏を支えてきた朝倉宗滴です。生涯負けなで、宗滴が書いた本には人生論や組織運営論が書いてあり、一つ一つが素晴らしいです。他にも柴田勝家や結城秀康、松平春嶽と、好きな偉人が多すぎて、紹介しきれません。



歴史家・作家
加来 耕三 さん

大学や企業の講師を務めながら、歴史家・作家として著作活動を行う。テレビ・ラジオ等の番組監修や出演も多数。

知事 私もたくさんいますが、今あけるなら結城秀康。不遇の人生であったと思いますが、真つすぐで正義感が強く、それでいて優しく勇敢で、とても素晴らしい人物だと思います。立場をしっかりとわきまえて弟である二代将軍・徳川秀忠を支えており、すごい人物だったと思います。

後藤 今の福井のまちの骨格を作ったのも結城秀康。古地図を片手にまち歩きすると、とても楽しいですよ。

知事 他にも紫式部や永平寺を開いた道元、啓発録を著した橋本左内、大野藩の財政立て直しを行った内山良休、映画「おしよりん」になった眼鏡産業の創始者の増永五左衛門などと、各時代、星のごとく数多くの偉人がいますね。

加来 福井は京都に近く、畿内の情報に敏感に反応することができた、また日本海側の貿易で栄えた敦賀や若狭があったことで経済力もあり、福井県は先進国だったといえます。これが数多くの偉人を輩出している大きな理由だと思います。

— 福井の歴史をどう観光に生かすか

— 福井県の歴史の魅力を知ってもらうためのオススメの歴史観光スポットを教えてください。

加来 福井市橘曙覧記念文学館がイチオシです。独楽吟の52首もとても素晴らしい。素朴な、日本の古き良き時代を感じます。

後藤 足羽山にある白山テラスです。福井を一望することができ、「さあ、福



県歴史活用コーディネーター
後藤 ひろみ さん

2010年に「ふくい歴史の会」を結成。多くのシンポジウム等にパネリストとして出演多数。昨年8月に県内の歴史を新たな観光資源として発信する「県歴史コーディネーター」に就任。

井をどう統治しようか」と戦国武将の気持ちになって見てみると、非常に面白いです。

— 福井県の魅力、県内外の人にもっと知ってほしいですね。

知事 福井県の良さというのは、幸福度日本一であり、人を安心させる、人の気持ちを和らげるところだと思っています。今まで発信力が弱いと言われて知られてないこともありました。これから北陸新幹線が福井・敦賀開業して、初めて福井県に来る人はいろんな新発見をすることになり、福井県の良さに気づいてもらえると思います。

— 歴史をどう観光に生かしていくか、ポイントはありますか。

加来 福井県は歴史上の人物が非常に多いので、古代に興味のある人、戦国に興味がある人、幕末に興味がある人、城に興味がある人と、興味・好みの分野によっていくつかのコースに分けるとよいと思います。

— 一乗谷朝倉氏遺跡は戦国時代真つただ中の遺跡であり、構想されている「日本最大の戦国フィールドミュージアム」化はとても面白いと思います。一乗谷朝倉氏遺跡はまだまだ手が届いておらず、まだまだ夢があります。



福井県知事
杉本 達治

— 県歴史活用コーディネーターである後藤さんはどのように福井県の歴史を生かしていきたいですか。

後藤 まずは、地域の人が地元の歴史を知って発信していく取組みを進めたいと思っています。自分たちの歴史を面白いなと思って愛し、観光客にもおすそ分けする、語れるようになるよと思っています。そのため「歴史知るJourney」というチームを作って、歴史の発信、情報収集、発信を行っています。

— さて、今年3月、いよいよ北陸新幹線が福井・敦賀開業します。加来さん、後藤さんの今年抱負を教えてください。

加来 もうすでに福井県を訪れる人が増えているのを感じています。北陸新幹線の延伸により、かつてないほど人が訪れると思いますので、福井県民が訪れる人に福井の歴史を語れるようになってほしいです。

後藤 「知ってトキメキ。旅して、伝える。福井の歴史。」です。「歴史知るJourney」のポリシーでもありますが、自分たちの住んでいる地域の歴史にときめいて、伝えていきたいなと思っています。



「こんないいところを見つけます。全国の人が見つけます。福井県がますます発展していくと思います。」

— 最後に知事の抱負をお願いします。

知事 「ふくい新時代の幕明け」です。北陸新幹線の福井・敦賀開業は福井県にとってゴールではなくスタートです。全国からたくさんの方が福井に来て、福井の良さを発信してくれて、福井ブームがやってきます。そして全国のみならず、来ただけではなく、福井県に元気を置いていってほしいです。そうすると新しい投資や次はこれをやる

— 最後、福井と共に行きたいです。1月、2月に、福井県にはこういう魅力がありますよ、ということを伝える講演会を行います。今年も福井県と共に、私も活躍したいと思っています。



この新春知事対談は、福井テレビホームページから視聴できます。 → 視聴者の中から抽選でプレゼントを進呈!

FBCで放送した新春知事対談は、FBCのホームページから視聴できます。 [テーマ] 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を最大に! [ゲスト] 新山直広さん(TSUGI代表) / 中山喜美子さん(敦賀市神楽町一丁目商店街振興組理事長)

